

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課																																	
事業名	教育委員会運営事業																																			
教育の一般方針 重点施策	—																																			
事業の意図	教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。																																			
【主な実施内容】																																				
<p>教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。</p> <p>(1) 定例会 12回（月1回）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10px;">ア</td><td style="width: 100px;">議事</td><td style="text-align: right;">0件</td></tr> <tr><td>イ</td><td>議案</td><td style="text-align: right;">47件</td></tr> <tr><td>（ア）</td><td>人事関係</td><td style="text-align: right;">14件</td></tr> <tr><td>（イ）</td><td>予算関係</td><td style="text-align: right;">4件</td></tr> <tr><td>（ウ）</td><td>条例、規則等</td><td style="text-align: right;">12件</td></tr> <tr><td>（エ）</td><td>後援名義使用許可</td><td style="text-align: right;">5件</td></tr> <tr><td>（オ）</td><td>表彰、褒賞等</td><td style="text-align: right;">7件</td></tr> <tr><td>（カ）</td><td>認定</td><td style="text-align: right;">0件</td></tr> <tr><td>（キ）</td><td>その他</td><td style="text-align: right;">5件</td></tr> </table> <p>(2) 臨時会 2回（4月、10月）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10px;">ア</td><td style="width: 100px;">議事</td><td style="text-align: right;">2件</td></tr> <tr><td>イ</td><td>議案</td><td style="text-align: right;">0件</td></tr> </table> <p>(3) 総合教育会議 2回（10月、2月）開催しました。</p>				ア	議事	0件	イ	議案	47件	（ア）	人事関係	14件	（イ）	予算関係	4件	（ウ）	条例、規則等	12件	（エ）	後援名義使用許可	5件	（オ）	表彰、褒賞等	7件	（カ）	認定	0件	（キ）	その他	5件	ア	議事	2件	イ	議案	0件
ア	議事	0件																																		
イ	議案	47件																																		
（ア）	人事関係	14件																																		
（イ）	予算関係	4件																																		
（ウ）	条例、規則等	12件																																		
（エ）	後援名義使用許可	5件																																		
（オ）	表彰、褒賞等	7件																																		
（カ）	認定	0件																																		
（キ）	その他	5件																																		
ア	議事	2件																																		
イ	議案	0件																																		
【評価及び課題、問題点など】																																				
<p>教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの振興といった多くの課題を抱えています。</p> <p>このため、現場の意見に基づいた議論を行う必要があり、各種会議・行事等に参加し、意見交換や現地状況を確認するなど、活発な活動を通じて引き続き教育行政の推進に努める必要があります。</p> <p>なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することが、ますます重要となってきています。</p>																																				

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

	担 当 課	学校教育課																																																																													
事業名	教育振興一般管理事業																																																																														
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道德教育の充実 (7)児童生徒の安全指導及び健康保持																																																																														
事業の意図	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。																																																																														
【主な実施内容】																																																																															
(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。 (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。 (3) 小学校の状況（平成29年5月1日現在） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">ア 東郷小学校</td> <td style="width: 15%;">児童数</td> <td style="width: 15%;">484人、</td> <td style="width: 15%;">学級数</td> <td style="width: 15%;">18学級、</td> <td style="width: 15%;">教職員数</td> <td style="width: 15%;">34人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木台小学校</td> <td>児童数</td> <td>416人、</td> <td>学級数</td> <td>16学級、</td> <td>教職員数</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪小学校</td> <td>児童数</td> <td>430人、</td> <td>学級数</td> <td>16学級、</td> <td>教職員数</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>エ 音貝小学校</td> <td>児童数</td> <td>476人、</td> <td>学級数</td> <td>18学級、</td> <td>教職員数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>オ 高嶺小学校</td> <td>児童数</td> <td>535人、</td> <td>学級数</td> <td>21学級、</td> <td>教職員数</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>カ 兵庫小学校</td> <td>児童数</td> <td>615人、</td> <td>学級数</td> <td>21学級、</td> <td>教職員数</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>児童数</td> <td>2,956人、</td> <td>学級数</td> <td>110学級、</td> <td>教職員数</td> <td>194人</td> </tr> </table> (4) 中学校の状況（平成29年5月1日現在） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">ア 東郷中学校</td> <td style="width: 15%;">生徒数</td> <td style="width: 15%;">442人、</td> <td style="width: 15%;">学級数</td> <td style="width: 15%;">16学級、</td> <td style="width: 15%;">教職員数</td> <td style="width: 15%;">38人</td> </tr> <tr> <td>イ 春木中学校</td> <td>生徒数</td> <td>738人、</td> <td>学級数</td> <td>24学級、</td> <td>教職員数</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>ウ 諸輪中学校</td> <td>生徒数</td> <td>247人、</td> <td>学級数</td> <td>9学級、</td> <td>教職員数</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>生徒数</td> <td>1,427人、</td> <td>学級数</td> <td>49学級、</td> <td>教職員数</td> <td>117人</td> </tr> </table> (5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。			ア 東郷小学校	児童数	484人、	学級数	18学級、	教職員数	34人	イ 春木台小学校	児童数	416人、	学級数	16学級、	教職員数	27人	ウ 諸輪小学校	児童数	430人、	学級数	16学級、	教職員数	30人	エ 音貝小学校	児童数	476人、	学級数	18学級、	教職員数	32人	オ 高嶺小学校	児童数	535人、	学級数	21学級、	教職員数	35人	カ 兵庫小学校	児童数	615人、	学級数	21学級、	教職員数	36人	計	児童数	2,956人、	学級数	110学級、	教職員数	194人	ア 東郷中学校	生徒数	442人、	学級数	16学級、	教職員数	38人	イ 春木中学校	生徒数	738人、	学級数	24学級、	教職員数	51人	ウ 諸輪中学校	生徒数	247人、	学級数	9学級、	教職員数	28人	計	生徒数	1,427人、	学級数	49学級、	教職員数	117人
ア 東郷小学校	児童数	484人、	学級数	18学級、	教職員数	34人																																																																									
イ 春木台小学校	児童数	416人、	学級数	16学級、	教職員数	27人																																																																									
ウ 諸輪小学校	児童数	430人、	学級数	16学級、	教職員数	30人																																																																									
エ 音貝小学校	児童数	476人、	学級数	18学級、	教職員数	32人																																																																									
オ 高嶺小学校	児童数	535人、	学級数	21学級、	教職員数	35人																																																																									
カ 兵庫小学校	児童数	615人、	学級数	21学級、	教職員数	36人																																																																									
計	児童数	2,956人、	学級数	110学級、	教職員数	194人																																																																									
ア 東郷中学校	生徒数	442人、	学級数	16学級、	教職員数	38人																																																																									
イ 春木中学校	生徒数	738人、	学級数	24学級、	教職員数	51人																																																																									
ウ 諸輪中学校	生徒数	247人、	学級数	9学級、	教職員数	28人																																																																									
計	生徒数	1,427人、	学級数	49学級、	教職員数	117人																																																																									
【評価及び課題、問題点など】																																																																															
学校だけでは対応が困難な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題解決の支援を行いました。しかし、児童生徒を取り巻く問題は様々あり、問題解決するまでには長期化するものもあります。1つでも多く問題を解決するために、スクールソーシャルワーカーに負荷が掛からないよう事業を継続して実施していく必要があります。																																																																															

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	適応指導事業		
教育の一般方針 重点施策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	不登校児童生徒に集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。		
【主な実施内容】			
<p>(1) ハートフル東郷を開設しました。</p> <p>ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。</p> <p>（ア）自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。</p> <p>（イ）基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。</p> <p>（ウ）対人関係の広がり支援し、集団への適応力を育成しました。</p> <p>（エ）個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。</p> <p>イ 運営時間 午前9時から午後3時まで（月曜日から金曜日）</p> <p>ウ 通室者数 12人〔町内小中学校不登校児童生徒数64人（H29年度不登校児童生徒状況調査）〕</p> <p>(2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>通室する児童生徒に対しては適切な指導を行っているが、常にハートフル東郷に通室している児童生徒がいます。しかし、通室すらできない児童生徒がいることや、学校へ復帰後にまた不登校となる児童生徒もいることから、今後も引き続き家庭、学校、地域などとの連携を密にしながら取り組んでいく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	生徒指導事業		
教育の一般方針 重点施策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。</p> <p>(2) スクールカウンセラー</p> <p>ア 小学校 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置されて、児童等からの相談を受けました。 児童等相談件数 133 件 年間相談時間 416 時間 (208 時間×2 人)</p> <p>イ 中学校 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置されて、生徒等からの相談を受けました。 生徒等相談件数 736 件 年間相談時間 624 時間 (208 時間×3 人)</p> <p>(3) 心の教室相談員</p> <p>ア 中学校 3中学校に計4名(東郷中学校1名、春木中学校1名、諸輪中学校2名)の心の教室相談員を配置し、生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 生徒等相談件数 956 件 勤務時間数 東郷中学校 468 時間 春木中学校 457 時間 諸輪中学校 396 時間</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>スクールカウンセラー及び心の教室相談員への相談は需要があります。</p> <p>児童生徒の問題行動の発生を事前に把握することは困難ですが、児童生徒がいつでも気軽に相談できるように工夫する必要があります。このため専門家ではない、お兄さん、お姉さんの立場の心の教室相談員を配置しており、毎年多くの相談があり、効果を出しているため、今後もこの形態を維持していきます。</p> <p>また、児童生徒の問題行動は家庭などに問題がある場合が多く、学校が対応できることに限界があることから平成28年度からスクールソーシャルワーカーを1名配置し、平成29年度には1名増員の2名配置しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	高等学校等教育振興事業		
教育の一般方針 重点施策	-		
事業の意図	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。		
【主な実施内容】			
<p>生徒が、平成29年10月1日現在私立高等学校等に在籍しており、10月1日現在、町内に在住している保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円（実際の授業料支払額が10,000円未満の場合は、その額まで）を補助しました。</p> <p>(1) 補助実施生徒数 390人</p> <p>(2) 在籍学校数 70校</p> <p><参考> 平成19年度までは、保護者が10月1日現在町内に在住し、かつ生徒が10月1日現在私立高等学校等に在籍している場合、所得制限なく生徒1人当たり年額12,000円を交付していました。 平成20年度及び21年度は、課税総所得金額410万円以下の所得制限を設け、生徒1人あたり年額15,000円を交付しました。 平成22年度及び平成23年度は、公立高等学校授業料無償化とともに、国の高等学校等就学支援金制度が創設されたことにより、愛知県の私立高等学校等授業料補助制度も改正され、保護者への補助が手厚くなったため、事業を中止しました。 平成24年度から補助事業を再開し、継続実施中です。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>対象者数に対する申請率は、平成24年度は70%ほどでしたが、平成25年度以降は申請者の負担軽減のため、郵送による受付を始め、申請率は80%近くなりました。さらに申請しやすくするために申請書をHPからダウンロードできるように改めました。 授業料の格差を是正するために、今後も継続する必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	学童教育推進事業		
教育の一般方針 重点施策	-		
事業の意図	学童期からの運動促進、運動好きな子どもを育み基礎体力の向上を図る。		
【主な実施内容】			
<p>学童教育推進事業</p> <p>産官学で連携し、研修会や講習会を実施しました。 (産：施設サービス株式会社、官：東郷町教育委員会、学：順天堂大学)</p> <p>(1) 順天堂大学の加納名誉教授を招き、教職員向け研修会を開催しました。 日時：平成29年8月3日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで 平成29年8月4日(金) 午前9時30分から午前11時30分まで 場所：東郷町総合体育館 アリーナ 参加者：38人</p> <p>(2) ロープパーformerのSADAさん等を招き、音貝小学校及び兵庫小学校の児童向けに講習会を開催しました。 ア 日時：平成30年1月10日(水) 午後0時55分から午後3時20分まで 場所：東郷町立音貝小学校体育館 参加者：459人 イ 日時：平成30年1月11日(木) 午前9時35分から午前11時45分まで 場所：東郷町立兵庫小学校体育館 参加者：610人</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>学童期における子ども達へのパフォーマンスを見せる講習会だけでなく、教職員向けの研修会も開催することによって、教える側と教わる側の双方にとって基礎体力の向上に対する意欲を向上させる事業であると考えます。今後も継続して実施していきたいと思っております。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校保健事業		
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立		
事業の意図	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 小中学校保健一般事業</p> <p>ア 児童生徒健診（小学校2, 956人、中学校1, 427人） 尿（2回）、心電図（小学1・4年生、中学1年生）、血液検査（中学2年生）、胸部X線（結核精密検査該当者）</p> <p>イ 教職員健診（小学校187人、中学校109人） 胃・眼底（35歳以上）、尿、胸部X線（結核）、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科健診、ストレスチェック</p> <p>ウ 産業医の委託（春木中学校1名）</p> <p>(2) 小中学校学校医等設置事業</p> <p>ア 学校医 内科検診（児童生徒、教職員）と就学時健診（小学校入学前） 眼科分（小学2・3・5・6年生と中学2・3年生）と就学時検診（小学校入学前）</p> <p>イ 歯科医 歯科検診（児童生徒）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>ウ 耳鼻科医 耳鼻科検診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>エ 眼科医 眼科検診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>オ 薬剤師 水質検査、学校環境測定（ダニ・ホルムアルデヒド・教室の照度・CO₂濃度など）</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>健康診断により疾病・異常を早期発見し、予防処置を施し、治療に役立っています。今後も学校保健安全法等に基づき、児童生徒の健康指導の面で継続していく必要があります。</p> <p>中学2年生で実施する血液検査（貧血）の項目に、平成26年度から肝機能検査、血中脂質検査を加え、生活習慣病の早期発見・予防に努めています。</p> <p>また、小学校1年生、4年生、中学校2年生の希望者に対し、色覚検査を行いました。</p> <p>労働安全衛生法に基づき、平成28年度に春木中学校において教職員のストレスチェックを実施し、平成29年度からは全小中学校で実施しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校維持管理事業		
教育の一般方針 重点施策	(8)学校施設等の整備		
事業の意図	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 小中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 小中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（小学校18件、中学校15件）を実施しました。 ①学校施設警備業務、②自家用電気工作物保守点検業務、③昇降機保守点検業務 ④消防用設備等保守点検業務、⑤浄化槽保守点検業務、⑥ごみ収集運搬業務、 ⑦濾過装置保守点検業務、⑧学校植栽維持管理業務、⑨学校施設清掃業務 ⑩兵庫小学校維持管理業務、⑪ガス空調機保守点検業務 など イ 学校環境の点検を行いました。 ①飲用水水質検査、②プール水水質検査、③学校環境衛生検査（ダニ及びハウスダスト）など ウ 小中学校に臨時職員を配置しました。 ①学校用務員9人（小学校6人、中学校3人）、②学校給食配膳員9人（小学校6人、中学校3人） ③学級運営改善対応員17人（小学校14人、中学校3人）、 ④学校生活介助員20人（小学校15人、中学校5人）、 ⑤非常勤講師13人（小学校6人、中学校7人）、 ⑥学校図書館司書教諭補助員9人（小学校6人、中学校3人） ⑦養護教諭補助員（中学校1人）</p> <p>(2) 小中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。 ア トイレ改修工事設計業務（高嶺小学校・南校舎） イ 学校施設長寿命化計画策定業務（東郷小学校外9） ウ トイレ改修工事監理業務（諸輪小学校・北校舎） エ トイレ改修工事監理業務（春木台小学校・北校舎） オ トイレ改修工事（諸輪小学校・北校舎） カ トイレ改修工事（春木台小学校・北校舎） キ 廊下床改修工事（春木台小学校・北校舎） ク 音楽室空調設備整備工事設計業務（諸輪中学校） ケ 音楽室空調設備整備工事監理業務（諸輪中学校） コ 音楽室空調設備整備工事（諸輪中学校） サ 扇風機取替工事 始め30件</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>今後、老朽化の進む施設の更新、改修に係る工事費等の急増が見込まれるため、計画的に修繕を行う必要があります。</p> <p>トイレの洋式化、校舎の長寿命化を計画的に進める予定です。</p> <p>学校からの要望に応え、学級運営改善対応員を小学校4名、中学校1名、学校生活介助員を小学校2名、中学校1名を増員し、養護教諭補助員1名を配置しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課																																				
事業名	小中学校運営事業																																						
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (3)生活習慣の徹底と道徳教育の充実 (4)学校、家庭、地域社会との連携 (6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備																																						
事業の意図	小中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。																																						
【主な実施内容】																																							
(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を37名委嘱し、学校評議員会を年間延べ21回開催し、延べ80人が出席しました。 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">東郷小学校</td> <td style="padding-right: 20px;">4名</td> <td style="padding-right: 20px;">3回</td> <td style="padding-right: 20px;">東郷中学校</td> <td style="padding-right: 20px;">5名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>春木台小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td>春木中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>諸輪小学校</td> <td>4名</td> <td>3回</td> <td>諸輪中学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>音貝小学校</td> <td>5名</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高嶺小学校</td> <td>2名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫小学校</td> <td>4名</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで全小中学校に配置しました。 (4) 特色ある事業の一環として、健康教育や地域文化教育、福祉教育など学校の独自性に合わせた教育を行いました。				東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回	春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回	諸輪小学校	4名	3回	諸輪中学校	4名	2回	音貝小学校	5名	3回				高嶺小学校	2名	2回				兵庫小学校	4名	2回			
東郷小学校	4名	3回	東郷中学校	5名	2回																																		
春木台小学校	4名	2回	春木中学校	4名	2回																																		
諸輪小学校	4名	3回	諸輪中学校	4名	2回																																		
音貝小学校	5名	3回																																					
高嶺小学校	2名	2回																																					
兵庫小学校	4名	2回																																					
【評価及び課題、問題点など】																																							
総合的な学習の時間などで地域社会との交流、国際理解などの学校単位での特色ある学習が増えてきています。また、地域に開かれた学校づくりを一層推進し、保護者や地域住民の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たしていくために学校評議員制度を今後も活用していく必要があります。																																							

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課	学校教育課
-------	-------

事業名	小中学校図書館整備事業
教育の一般方針 重点施策	(2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (8)学校施設等の整備
事業の意図	学校図書館の蔵書数を文部科学省の定める図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童生徒の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

【主な実施内容】

(1) 蔵書状況

	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
東郷小学校	143 冊	40 冊	10,781 冊	10,360 冊	104%
春木台小学校	152 冊	47 冊	10,795 冊	9,560 冊	113%
諸輪小学校	321 冊	126 冊	9,405 冊	9,560 冊	98%
音貝小学校	924 冊	350 冊	10,533 冊	10,360 冊	102%
高嶺小学校	160 冊	47 冊	11,317 冊	10,960 冊	103%
兵庫小学校	329 冊	172 冊	11,764 冊	10,960 冊	107%
計	2,029 冊	782 冊	64,595 冊	61,760 冊	
東郷中学校	260 冊	573 冊	14,113 冊	12,640 冊	112%
春木中学校	609 冊	300 冊	15,692 冊	15,520 冊	101%
諸輪中学校	648 冊	519 冊	9,268 冊	9,040 冊	103%
計	1,517 冊	1,392 冊	39,073 冊	37,200 冊	

(2) 年間貸出冊数

東小	春小	諸小	音小	高小	兵小	計	東中	春中	諸中	計
6,100	7,678	12,312	6,274	8,138	20,308	60,810	1,042	5,614	883	7,539

【評価及び課題、問題点など】

計画的な図書の整備や充足率の低い学校へ重点的に予算を配当したことにより、蔵書状況が改善されました。

総合学習など、さまざまな分野の学習が求められており、学校図書館の充実、より広範囲な図書の選定などが求められています。また、コンピュータの普及により、本に触れる機会が減ってきているため、小学校において読書の時間を設けるなど多様な読書活動に取り組むようになってきています。本に親しむことは、心豊かな児童生徒を育てる上で欠かせない要素であり、今後も標準冊数を確保できるように計画的な整備を実施していく必要があります。

特に、中学校では貸出冊数が少ないため、心身ともに成長期を迎えている生徒に対し、より多くの本に親しんでもらえるよう、読書活動を今後さらに推進する必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課		
事業名	小中学校特別支援教育奨励事業				
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道德教育の充実				
事業の意図	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。				
【主な実施内容】					
小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。					
(1) 支給人数 小学校49人、中学校19人					
(2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費					
(3) 費目別支給金額					
区分	学用品費	学校給食費	新入学用品費	校外活動費	修学旅行費
小学校	232,770円	966,920円	81,880円	39,999円	96,308円
中学校	132,060円	380,120円	58,875円	18,750円	112,815円
【評価及び課題、問題点など】					
教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき事業を実施しています。この制度について、正確に保護者に周知する必要があります。					

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課																											
事業名	小中学校就学援助事業																													
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道德教育の充実																													
事業の意図	経済的な事情により就学困難な児童生徒の保護者を援助することにより、すべての児童生徒が安心して義務教育を受けることができますようにします。																													
【主な実施内容】																														
<p>小中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。</p> <p>(1) 支給人員 小学校131人、中学校65人</p> <p>(2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、生徒会費(中学校)</p> <p>(3) 費目別支給金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">小学校</th> <th style="text-align: center;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学用品費</td> <td style="text-align: right;">1,442,680円</td> <td style="text-align: right;">1,415,461円</td> </tr> <tr> <td>②通学用品費</td> <td style="text-align: right;">248,720円</td> <td style="text-align: right;">99,230円</td> </tr> <tr> <td>③学校給食費</td> <td style="text-align: right;">5,341,520円</td> <td style="text-align: right;">2,794,220円</td> </tr> <tr> <td>④新入学用品費</td> <td style="text-align: right;">609,000円</td> <td style="text-align: right;">900,600円</td> </tr> <tr> <td>⑤校外活動費</td> <td style="text-align: right;">394,138円</td> <td style="text-align: right;">611,491円</td> </tr> <tr> <td>⑥修学旅行費</td> <td style="text-align: right;">695,337円</td> <td style="text-align: right;">1,070,367円</td> </tr> <tr> <td>⑦PTA会費</td> <td style="text-align: right;">186,720円</td> <td style="text-align: right;">111,650円</td> </tr> <tr> <td>⑧生徒会費</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">28,008円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	小学校	中学校	①学用品費	1,442,680円	1,415,461円	②通学用品費	248,720円	99,230円	③学校給食費	5,341,520円	2,794,220円	④新入学用品費	609,000円	900,600円	⑤校外活動費	394,138円	611,491円	⑥修学旅行費	695,337円	1,070,367円	⑦PTA会費	186,720円	111,650円	⑧生徒会費	-	28,008円
区分	小学校	中学校																												
①学用品費	1,442,680円	1,415,461円																												
②通学用品費	248,720円	99,230円																												
③学校給食費	5,341,520円	2,794,220円																												
④新入学用品費	609,000円	900,600円																												
⑤校外活動費	394,138円	611,491円																												
⑥修学旅行費	695,337円	1,070,367円																												
⑦PTA会費	186,720円	111,650円																												
⑧生徒会費	-	28,008円																												
【評価及び課題、問題点など】																														
<p>学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき事業を実施しています。経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより、義務教育就学の円滑化を図ることができるため、今後も継続していく必要があります。</p> <p>今後も引き続き、本事業の主旨について、全保護者に対し周知していく必要があります。</p> <p>また、現在1年生の児童生徒をもつ保護者に対し、入学後に支給している新入学用品費について、保護者が新入学用品の用意を始める入学前に支給することにより、より実態に即した援助となります。したがって、今後は次年度入学予定の児童生徒の保護者のうち申請のあった保護者へは、入学前の準備金として支給する予定です。</p>																														

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	学校教育課
事 業 名	小中学校情報教育推進事業		
教育の一般方針 重 点 施 策	(6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備		
事業の意図	全小中学校のコンピュータ教室の児童生徒用コンピュータが効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童生徒がコンピュータを利用し、学ぶことができる環境を整備して情報教育を推進します。		
【主な実施内容】			
<p>(1) パソコン教室の整備 全小中学校のコンピュータ教室に設置してあるコンピュータ360台(小学校6校×40台、中学校3校×40台)により、情報教育を推進できる環境を維持しました。 パソコン教室機器の整備状況(1校当たりの台数) ア 児童生徒用パソコン40台、教師用パソコン1台 イ カラープリンタ 2台 ウ プロジェクタ 1台(小学校)、2台(中学校) エ デジタルカメラ 10台 オ スキャナ 1台(小学校)、2台(中学校) カ 電子黒板 1台</p> <p>(2) 安全に情報へアクセスできる環境 児童生徒がインターネットなどで安全に情報を取得できる環境を整備しました。 ア インターネットプロバイダへの接続 イ ルータによる外部からの侵入の防御 ウ インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限 エ ウイルス対策ソフトウェアの導入</p> <p>(3) 情報コンテンツの利用による授業展開 コンピュータグラフィックなどにより分かりやすく表現した情報コンテンツ等を利用して授業を行い、理解度を深めました。 利用コンテンツ数 50個(小学校44個、中学校6個)</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>文部科学省の整備基準に見合うように、一層の情報教育機器を整備する必要があり、情報教育機器の整備を推進するため、学校と協議し、内容を検討する必要があります。</p> <p>校内LANは、中学校は整備済みですが、小学校は未整備のため、校内LAN及び校内LANを利用できる教育用コンピュータを整備する必要があります。普通教室からインターネットに接続ができるようになれば、授業などでインターネットが活用でき、様々な情報を調べることができるようになります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	社会教育振興事業・各種教室開催事業		
関連する重点施策	1 生涯学習活動の充実		
事業の意図	1 社会教育振興事業 生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。 2 各種教室開催事業 興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。		
【主な実施内容】			
1 社会教育振興事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：2017 秋号 17,500 部 2018 春号 17,500 部 (2) 「東郷の教育」の刊行（年1回） 印刷部数：200 部 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 前年から3人増加し、217人になりました。 (4) ボランティア活動等主催者賠償責任保険に加入しました。 加入団体：社会教育関係5団体 2 各種教室開催事業 各種教室数 12 教室 年間受講者延べ人数 950 人			
【総合評価】			
1 社会教育振興事業 「ジョイフル」は、生涯学習情報誌として、町内で行われる事業をできる限り掲載しました。また、全戸配布することで、各家庭で手軽に情報を収集していただくことができました。 「東郷の教育」については、教育委員会の1年間の事業等の記録を作成し、永年価値のある資料を作成することができました。 2 各種教室開催事業 複数回予定していた講座では、回によっては最低人数が集まらず、実施することができませんでした。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課												
事業名	放課後子ども教室推進事業														
関連する重点施策	2 放課後子どもプランの推進														
事業の意図	身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学年の異なる子ども同士や地域の大人との交流を図り、学習の支援を始めとした様々な体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。														
【主な実施内容】															
<p>放課後子ども教室推進事業</p> <p>(1) 内容</p> <p>ア 学びの場：自主学習の支援、読書等</p> <p>イ 遊びの場：将棋・囲碁、トランプ、体育館スポーツ、屋外での遊び等</p> <p>ウ 体験の場：お茶の手ほどき、工作、昔遊び等</p> <p>エ ふれあいの場：グランドゴルフ、自然観察等</p> <p>(2) 開所日等</p> <p>平成29年4月1日から平成30年3月31日まで</p> <p>月曜日から金曜日まで（年末年始（12/28～1/6）、お盆の期間（8/11～20）、国民の祝日に関する法律に規定する休日、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。）</p> <p>授業のある日：各学年授業終了後から午後5時30分まで</p> <p>授業のない日：午前9時から午後5時まで （ただし、学校行事等で開所しない場合あり。）</p> <p>(3) 場所</p> <p>兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校</p> <p>(4) 開所日数</p> <p>220日（兵庫） 221日（高嶺） 215日（東郷） 223日（音貝） 222日（諸輪） 221日（春木台）</p> <p>(5) 登録数及び1日平均参加児童数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>212人登録</td> <td>約23人/日（兵庫）</td> <td>160人登録</td> <td>約22人/日（高嶺）</td> </tr> <tr> <td>150人登録</td> <td>約26人/日（東郷）</td> <td>222人登録</td> <td>約41人/日（音貝）</td> </tr> <tr> <td>164人登録</td> <td>約34人/日（諸輪）</td> <td>160人登録</td> <td>約29人/日（春木台）</td> </tr> </table> <p>(6) 参加費</p> <p>無料（別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の負担）</p> <p>(7) 研修</p> <p>ア 放課後子どもプラン指導者研修会に参加した。（コーディネーター始め6人）</p> <p>イ 普通救命講習会（コーディネーター始め22人）</p>				212人登録	約23人/日（兵庫）	160人登録	約22人/日（高嶺）	150人登録	約26人/日（東郷）	222人登録	約41人/日（音貝）	164人登録	約34人/日（諸輪）	160人登録	約29人/日（春木台）
212人登録	約23人/日（兵庫）	160人登録	約22人/日（高嶺）												
150人登録	約26人/日（東郷）	222人登録	約41人/日（音貝）												
164人登録	約34人/日（諸輪）	160人登録	約29人/日（春木台）												
【総合評価】															
<p>全教室で慢性的に指導員が不足しているため、安全に教室を開所するため、指導員の確保が必要です。</p> <p>また、参加人数が当日にしかわからないため、日によっては十分な活動場所が確保できない場合があります。</p>															

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課

生涯学習課

事業名	青少年健全育成事業・家庭教育等推進事業						
関連する重点施策	3 青少年の健全育成と家庭教育の充実						
事業の意図	<p>1 青少年健全育成事業 東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。</p>						
【主な実施内容】							
<p>1 青少年健全育成事業</p> <p>(1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。</p> <p>ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰（平成29年11月12日表彰式）</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>青少年の部</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td>青少年指導者の部</td> <td style="text-align: right;">2人</td> </tr> <tr> <td>青少年団体の部</td> <td style="text-align: right;">なし</td> </tr> </table> <p>イ 啓発資材作成及び掲示（11月中） のぼり（190枚）</p> <p>(2) 少年補導委員事業 少年補導員6名による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。</p>		青少年の部	20人	青少年指導者の部	2人	青少年団体の部	なし
青少年の部	20人						
青少年指導者の部	2人						
青少年団体の部	なし						
【総合評価】							
<p>1 青少年健全育成事業 優良青少年・指導者等の表彰を文化産業まつりに合わせて実施していましたが、まつりと同時開催だとまつりの出演と重なったり、駐車場の確保が難しかったりすることから、平成30年度は単独で表彰式を行います。</p> <p>2 家庭教育等推進事業 6小学校で家庭教育推進事業を行っていますが、それぞれ工夫し、講座を通して親同士の交流や家庭教育に関する情報交換を行う機会となっています。</p>							

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業 町民会館文化ふれあい事業・文化団体育成事業		
関連する重点施策	4 文化・芸術の振興		
事業の意図	1 公民館文化ふれあい事業 身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。 3 町民会館文化ふれあい事業 町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。 4 文化団体育成事業 団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。		
【主な実施内容】			
1 公民館文化ふれあい事業 (1) コン서트への誘い ア 第74回 宝くじ文化公演 NHK交響楽団メンバーによる「名曲の森」 イ 第75回 秋川雅史コンサート「聴いてよく分かるクラシック」 (2) レクチャー・ミニコンサート 6回開催 (3) 町民大学講座（ミニ文化講演会） 4回開催 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒が日頃の練習の成果を発表するために音楽祭を開催しました。 (1) ソロ・アンサンブルの部 (2) 吹奏楽の部 (3) 合唱の部 3 町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 (1) 妖怪マジック～フシギな世界は妖怪次第!!～ (2) 沖縄の新しいエンターテイメント 琉神コンサート2017 (3) キエフ・クラシック・バレエ「チャイコフスキー夢の三大バレエ名場面集」 (4) 絵本作家のぶみ先生と遊ぼう！ 4 文化団体育成事業 (1) 文化協会育成推進事業 ア 10月15日に総合体育館で開催した愛知県民茶会の運営補助金を交付しました。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

イ 文化協会の運営活動に対し補助金を交付しました。

(7) 加盟団体数 29 団体

(4) 各部の活動回数 538 回

(2) 東郷音頭保存会育成事業

東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。

ア 会員数 80 人

イ 自主活動回数 63 回

【総合評価】

1 公民館文化ふれあい事業

宝くじ文化公演は、様々な手段で各方面に広報を行いました。水曜日の夜間のコンサートであったためか、集客を伸ばすことができませんでした。

今後も、開催日時やニーズを十分に検討し、事業を行っていく必要があります。

2 音楽祭開催事業

吹奏楽の部は、設営やリハーサルを含め、前日と本番の2日間を部活動として参加していたが、中学校の部活動のあり方に反するため、今後の開催方法を検討する必要があります。

3 町民会館文化ふれあい事業

平成29年度は、どの事業も高い集客率でした。今後も、様々な芸術文化に触れていただけるよう、事業を企画していきます。

4 文化団体育成事業

文化協会は4団体が休部中ですが、今後も各部が活発に活動していけるよう、後継者の育成が必要です。

東郷音頭保存会が行った子ども教室や出前指導では、子ども達が楽しく東郷音頭や東郷小唄を学ぶことができました。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	歴史民俗資料事業		
関連する重点施策	5 郷土資料館の充実		
事業の意図	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。		
【主な実施内容】			
<p>歴史民俗一般管理事業</p> <p>(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開催し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。</p> <p>(2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー 6回開催 計161名が参加 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明</p> <p>(3) 新収蔵品 民俗資料 土さし、台秤、棹秤、ふるい、甕、木桶、五徳、小学校学習机、大正箱、鉢、千歯、燐寸、ダイガラ、タコ、漬物桶、たらい、半切り桶、祝い桶、箕、田の草取り用ツメ、ダイギリ、ノコギリ、ナタ</p> <p>(4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種</p>			
【総合評価】			
収蔵品を十分に活用するためには、資料の整理と検索性の向上が必要です。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課

生涯学習課

事業名	文化財保護事業
関連する重点施策	6 文化財の保護と継承
事業の意図	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう保存していきます。

【主な実施内容】

文化財保護事業

(1) 文化財保護委員会関係事業

町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を年2回開催しました。

(2) 文化財講座等事業

ア 文化財めぐり

町民に文化財を理解してもらうために文化財めぐりを開催しました。

期 日 平成29年10月21日(土)

場 所 湧田清水、融田清水碑、大清水、坂口の泉跡、清水尻

参加者 7人

イ 歴史講座

「徳川家康の青年期を知る」と題して3回連続講座を開催しました。

講 師 原史彦氏(徳川美術館 学芸員)

参加者 29人

(3) 文化財保存事業

ア 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。

イ 県指定文化財である祐福寺勅使門の修繕に対し補助を行いました。

ウ 町指定文化財であるアベマキの剪定に対し補助を行いました。

(4) 町指定無形民俗文化財保存育成事業

ア 伝統文化こども教室の発表会を開催しました。

【総合評価】

文化財を適切に管理、保護することで、後世まで文化財を残していく必要があります。

また、東郷町の歴史を紡いでいくため、御協力いただける方を探し、当時の暮らしやまちの様子などについて聞き取り調査等を行うことも重要です。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課

生涯学習課

事業名	図書館管理運営事業
関連する重点施策	7 図書館活動の推進
事業の意図	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄り、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が見学資料に親しむことができるような図書館とします。

【主な実施内容】

(1) 図書館管理運営事業

ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。

- (ア) 図書館協議会委員数 8名
- (イ) 図書館協議会開催回数 年1回

イ 図書館の利用状況

- (ア) 図書館開館日数 285日
- (イ) 利用者数 37,224人
- (ウ) 入館者数 134,593人
- (エ) 貸出冊数 151,936冊

ウ 図書館の蔵書数 計128,920冊

- (ア) 一般書 79,606冊
- (イ) 児童書 37,325冊
- (ウ) 参考資料 772冊
- (エ) 郷土資料 4,405冊
- (オ) 点字資料 329冊
- (カ) 紙芝居 1,154冊
- (キ) ビデオ・DVD 956冊
- (ク) 雑誌 4,373冊

(2) 指定管理者制度

ア 平成25年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。

- (ア) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社
- (イ) 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

イ 平成30年度からの指定管理者を公募しました。

- (ア) 評価委員会 1回開催
- (イ) 候補者選定委員会 1回開催
- (ウ) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社
- (エ) 指定期間 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで

【総合評価】

指定管理者の評価及び選定を適正に行うことができました。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	各種スポーツ開催事業・レガッタ推進事業		
関連する重点施策	8-1 スポーツの普及・振興		
事業の意図	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。		
【主な実施内容】			
<p>各種スポーツ教室開催事業</p> <p>(1) ボート教室（春・ナックルフォア）3回開催（6月11日・18日・25日） 参加申込み人数 24人（うち子供10人） 延べ参加人数 59人 ボート教室（夏・ナックルフォア）3回開催（8月19日・26日、9月2日） 参加申込み人数 9人（うち子供2人） 延べ参加人数 22人</p> <p>町民レガッタ開催事業</p> <p>(1) 開催種目（ナックルフォア500m） ガッツマン、ジェントルマン、グランドシニア男子、レディー、マダム、グランドシニア女子、ミックス、中学生、高校生、地区別体験レース、3市1町スポーツ推進委員の部</p> <p>(2) 開催日 平成29年8月6日（日）</p> <p>(3) 場所 愛知池漕艇場</p> <p>(4) 参加クルー数 144クルー（877人）</p> <p>(5) 来場者数 約2,500人</p> <p>(6) その他 ア 大会プログラムを1,200部作成しました。 イ 大会ポスター120部作成し、町内公共施設等に掲示しました。 ウ 会場テント、仮設トイレ設営等を委託しました。 エ インターホン等の放送設備を改修しました。</p>			
【総合評価】			
<p>ボート教室は、子ども達が参加しやすい教室を企画するとともに、子ども会などの各種団体と連携した事業を展開していくことで、ボート人口の裾野を拡大していきます。</p> <p>町民レガッタは、参加クルーが減少傾向にあるため、引き続き、各区・自治会、各小中学校PTA、町内企業に周知するとともに、ボート教室参加者など、新たな参加者を確保していく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課		生涯学習課
事業名	スポーツ団体育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業	
関連する重点施策	8-2 スポーツの普及・振興	
事業の意図	<p>スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始めの機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。</p> <p>スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。</p> <p>レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。</p>	
【主な実施内容】		
<p>スポーツ団体育成事業</p> <p>(1) 下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東郷町体育協会 加盟団体数 17 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 少年少女スポーツクラブ 加盟団体数 1 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 東郷町ボート協会 構成団体数 1 団体</p> <p style="margin-left: 20px;">エ TOGOスポーツクラブ (11 回開催) 各小学校においてスポーツ教室等を実施</p> <p>(2) スポーツイベント「とうごう体操まつり 2017」を町内のスポーツ関係団体で連携し開催</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 開催日・場所 平成 29 年 10 月 9 日 (月) 総合体育館アリーナ</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 参加者数 約 240 人</p> <p>スポーツ指導者育成事業</p> <p>(1) スポーツ推進委員関係事業</p> <p style="margin-left: 20px;">スポーツ推進委員 23 名が、本町のスポーツ振興のために、家族体力づくりの日、レクリエーションスポーツなどの各種スポーツ大会及び事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">また、スポーツ関係機関との連絡調整及び各種研修会に参加して、ニュースポーツの紹介、競技の指導技術及び知識の高揚に努めました。</p> <p>(2) 体力づくり推進委員関係事業</p> <p style="margin-left: 20px;">体力づくり推進委員 51 名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修を実施しました。</p> <p>スポーツ事業開催事業</p> <p>(1) レクスポ大会事業</p> <p style="margin-left: 20px;">レクリエーションスポーツの普及を図るために、第 25 回レクスポ大会 (種目：夢ボール) を開催しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 開催日・場所 平成 29 年 2 月 18 日 (日) 総合体育館アリーナ</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 参加チーム数 18 チーム (90 人)</p> <p>(2) 町民ハイキング事業</p> <p style="margin-left: 20px;">平成 29 年 10 月 29 日 (日) に滋賀県大津市で実施を予定していましたが、台風の接近に伴い荒天となることが予想されたため、第 43 回町民ハイキングは中止としました。</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

【総合評価】

スポーツ関係団体で連携し開催したスポーツイベント「とうごう体操まつり」の知名度を向上させ、より効果的なイベントとなるよう福祉関係事業との統合も検討して、より多くの町民に参加されるような企画を立案していく必要があります。

スポーツ指導者の育成については、町民へのスポーツの普及と振興に指導者が必要不可欠ですので、今後も引き続き研修会や他市町委員との交流を通して、スポーツ指導者の資質向上を支援していく必要があります。

レクスポ大会については、誰でも気軽に参加できる種目を選定するとともに、レクスポの日や家族体力つくりの日などの他の事業と連携して開催していきます。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	スポーツ交流事業		
関連する重点施策	8-3 スポーツの普及・振興		
事業の意図	<p>ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。</p> <p>東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。</p>		
【主な実施内容】			
<p>スポーツ交流事業</p> <p>(1) 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東尾張地区大会</p> <p style="margin-left: 40px;">町内から6種目（グラウンドゴルフ1チーム、ソフトバレーボール1チーム、年齢別テニス1チーム、年齢別バドミントン1チーム、弓道5チーム、軟式野球1チーム）の代表10チームを東尾張地区大会に派遣しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 県大会</p> <p style="margin-left: 40px;">東尾張地区大会で、優勝した軟式野球と準優勝したソフトが県大会に出場しました。</p> <p>(2) 愛知県市町村対抗駅伝事業</p> <p style="margin-left: 20px;">県内市町村の交流、スポーツに対する県民意識の高揚を図るために、平成29年12月2日（土）に愛・地球博記念公園内で愛知県市町村対抗の駅伝大会が開催され、全市町村54チーム（うち町村16チーム）が参加しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">本町からは、20名の選手及び監督が参加し、町村の部において2位に入賞しました。</p>			
【総合評価】			
<p>愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル大会については、参加するチームの支援を継続する必要があります。</p> <p>愛知駅伝については、選手選考会前から小中学生の強化選手を募集して定期練習会を開催するなど、優勝に向けて、町代表チームの育成強化を図ります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課																					
事業名	体力づくり推進事業																							
関連する重点施策	8-4 スポーツの普及・振興																							
事業の意図	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。																							
【主な実施内容】																								
<p>体力づくり推進事業</p> <p>(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して「家族体力づくりの日」を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッジビー、グラウンドゴルフ等を行いました。また、各小学校区において年1～2回スポーツ大会やスポーツ教室を実施しました。</p> <p>(2) 「家族体力づくりの日」参加状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10px;">ア</td><td style="width: 150px;">東郷小学校区</td><td style="text-align: right;">289人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>春木台小学校区</td><td style="text-align: right;">378人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>諸輪小学校区</td><td style="text-align: right;">608人</td></tr> <tr><td>エ</td><td>音貝小学校区</td><td style="text-align: right;">144人</td></tr> <tr><td>オ</td><td>高嶺小学校区</td><td style="text-align: right;">565人</td></tr> <tr><td>カ</td><td>兵庫小学校区</td><td style="text-align: right;">315人</td></tr> <tr><td></td><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: right;">2,299人</td></tr> </table>				ア	東郷小学校区	289人	イ	春木台小学校区	378人	ウ	諸輪小学校区	608人	エ	音貝小学校区	144人	オ	高嶺小学校区	565人	カ	兵庫小学校区	315人		合計	2,299人
ア	東郷小学校区	289人																						
イ	春木台小学校区	378人																						
ウ	諸輪小学校区	608人																						
エ	音貝小学校区	144人																						
オ	高嶺小学校区	565人																						
カ	兵庫小学校区	315人																						
	合計	2,299人																						
【総合評価】																								
引き続き、家族体力づくりの日の情報発信を積極的に行い、身近な場所で気軽に運動・スポーツに親しむ機会があることを地域住民に周知するとともに、地元の子ども会や少年野球などのスポーツ団体との連携を強化していきます。																								

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	体育施設管理事業・総合体育館管理事業		
関連する重点施策	9 体育施設の整備充実		
事業の意図	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。 総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>体育施設管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度（総合体育館管理事業と共通）</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 平成25年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。</p> <p style="margin-left: 40px;">(7) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 指定管理者の管理運営状況を評価するため、指定管理者評価委員会を開催しました。</p> <p style="margin-left: 40px;">開 催 日 平成29年7月31日(月)</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 平成30年度から5年間の指定管理者を公募し、指定管理者候補者選定委員会を開催しました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(7) 開 催 日 平成29年9月25日(月)</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p>(2) 体育施設一般管理事業</p> <p style="margin-left: 20px;">町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。</p> <p>(3) 愛知池漕艇場維持管理事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア ボートハウス及び総合監視所の光熱水費の支払い及び施設設備の保守業務を委託しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員2名を雇用しました。</p> <p>(4) ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>総合体育館管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度（体育館管理事業と共通）</p> <p style="margin-left: 20px;">上記「体育施設管理事業(1)」に同じ</p> <p>(2) 総合体育館管理事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 総合体育館のバスケットゴールを更新しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 集中豪雨により浸水した総合体育館アリーナ天井部を修繕しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 総合体育館弓道場の安土整形やシャッターを修繕しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">オ 総合体育館駐車場用地(1,389㎡)の借地料を支払いました。</p>			
【総合評価】			
町体育施設及び総合体育館は、本町のメインとなるスポーツ施設ですので、安全かつ快適に施設利用ができるよう、指定管理者との連絡を密に行い、施設の現状把握に努めるとともに、指定管理者に必要な助言等を行っていく必要があります。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

担 当 課	高校総体室
-------	-------

事業名	高校総体準備事業
関連する重点施策	10 平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）ボート競技大会の開催
事業の意図	各都道府県の代表選手が、成果を十分発揮できるようにします。また、高校総体を通じてボート振興を図ります。

【主な実施内容】

高校総体開催事業

- (1) 会議に出席しました。
 - ア 愛知県実行委員会 1回
 - イ 愛知県常任委員会 2回
 - ウ 愛知県関係者連絡会議 5回
 - エ 説明会（経理・協賛） 2回
- (2) 東郷町実行委員会を設立し、会議を開催しました。
 - 総会 3回（設立総会、第1回総会、第2回総会）
- (3) 関係団体と打合せ（3者打合せ・専門部会）を行いました。（関係団体＝愛知県高等学校体育連盟ボート専門部、愛知県ボート協会、町職員）
 - 打合せ回数 10回
- (4) 先催県（宮城県登米市）を視察しました。
 - ア 組合せ抽選会
 - (7) 視察日
平成29年6月30日から平成29年7月1日
 - (4) 内容（場所）
抽選会（宮城県登米市中田総合支所）
競技会場事前確認（宮城県長沼ボート場）
 - イ 競漕会・式典等
 - (7) 視察日
平成29年7月31日から平成29年8月6日
 - (4) 内容（場所）
開会式（宮城県登米祝祭劇場）
競漕会（宮城県長沼ボート場）
表彰式（宮城県長沼ボート場特設会場）
- (5) 先催県から引継ぎを受けました。
 - ア 実施日
平成29年11月14日から平成29年11月15日
 - イ 内容（場所）
事務局の引継ぎ（宮城県登米市中田総合支所）
- (6) その他
 - ア 競技種目別大会ポスターを作成しました。
 - イ 大会周知活動を実施しました。

【総合評価】

平成30年度に開催する大会が、円滑に運営できるよう準備を進める必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

	担 当 課	給食センター
事業名	給食センター管理運営事業	
関連する重点施策	(1) 学校給食の献立の充実 (2) 食に関する指導を推進する。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進する。 (4) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努める。 (5) 老朽施設・設備等の改修を計画的に実施する。	
事業の意図	給食センター内の調理設備を常に安定稼働させ、衛生的で安全な給食を安定して提供できるようにします。	
【主な実施内容】		
給食センター管理運営事業 (1) 魅力あるおいしい給食づくり。 ア 献立委員会や物資選定委員会により出された、意見やこれまでの反省等を元に季節感や旬の食材を大切に にした給食を提供しました。 イ 運営委員会を開催しセンターの運営について審議しました。 (7) 開催日 平成29年6月16日(金) (4) 主な内容 平成28年度事業報告、平成29年度事業計画、学校保育園栄養士による栄養指導計画 (4) 運営委員 教育部長、福祉部長、各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の 会代表 計22名 (2) 食に関する指導を推進しました。 全小中学生に対して栄養教諭による食に関する指導を行いました。 小学校低学年には、食べる姿勢や箸の使い方等を、小学校高学年や中学生には栄養素や食習慣等をテーマ に指導しました。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進しました。 ア 食育だより「いただきます」を保護者の各家庭に配布し望ましい食生活を啓発しました。また、読者を 増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。 イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。 (4) 応募献立 児童生徒に給食への関心を持たせることにより、食育の推進を図ることを目的とし、テーマをもとに献立 を募集しました。受賞献立は、給食として実施しました。 ア テーマ「愛知のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立（小学生7献立、中学生4献立） (5) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努めました。 センター内の職員全員（委託業者含む）の検便検査（サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス） を月2回実施しました。 (6) その他 ア 施設・機器等の保上点検を実施し、健全な施設の維持管理に努めるとともに、老朽化した機器の更新、 調理員用女子トイレを改修しました。 イ 長寿命化計画を策定しました。 ウ 給食調理配送等業務の事業者の選定（プロポーザルの実施）を行いました。		
【総合評価】		
施設や機器の老朽化に伴い増大する修繕負担を、効率的かつ継続的に実施していくための更新プランを検討し ていきます。 長寿命化計画に基づく効率的な施設の管理、運営を行っていきます。		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

	担 当 課	給食センター																																				
事業名	小学校給食事業・中学校給食事業																																					
関連する重点施策	(1) 学校給食の献立の充実 (2) 食に関する指導を推進する。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進する。																																					
事業の意図	児童生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食を提供する。																																					
【主な実施内容】																																						
(1) 提供食数 () 内はH28年度実績 ア 小学校※ 589,904食 (579,573食) イ 中学校 264,163食 (262,900食) ウ 合 計 854,067食 (842,473食) ※ ハートフル東郷、給食センター職員等 (2) 献立作成の重点 ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。(呉汁、ししゃもフライ等) イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。(7月夏野菜カレー、10月栗入り五目ご飯) ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。 (10月実施(お月見)月見汁、2月実施(節分)いわし蒲焼き) エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さをアピールしました。(れんこんサラダ、ししゃもフライ等) (3) 地場産物の使用状況 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。 また、地産地消推進事業として東郷町産食材6品目について公費による給食を提供しました。																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">食材</th> <th style="width: 33%;">使用月</th> <th style="width: 33%;">使用した献立名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米、もち米、赤米(※)</td> <td style="text-align: center;">4、3</td> <td>古代米赤飯</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">タマネギ</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>オニオンスープ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ローゼル(※)</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>東郷町産ローゼルジャム</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なす</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td>夏野菜カレー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">トマト(※)</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td>東郷町産トマト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">かぼちゃ(※)</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>東郷町産かぼちゃコロッケ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">柿(※)</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td>東郷町産柿</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米(※)</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td>東郷町産お米のタルト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大根</td> <td style="text-align: center;">12~1</td> <td>七草汁他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ねぎ</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>豚汁他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">白菜</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>土佐あえ他</td> </tr> </tbody> </table>			食材	使用月	使用した献立名	米、もち米、赤米(※)	4、3	古代米赤飯	タマネギ	6	オニオンスープ	ローゼル(※)	6	東郷町産ローゼルジャム	なす	7	夏野菜カレー	トマト(※)	7	東郷町産トマト	かぼちゃ(※)	10	東郷町産かぼちゃコロッケ	柿(※)	11	東郷町産柿	米(※)	11	東郷町産お米のタルト	大根	12~1	七草汁他	ねぎ	1	豚汁他	白菜	1	土佐あえ他
食材	使用月	使用した献立名																																				
米、もち米、赤米(※)	4、3	古代米赤飯																																				
タマネギ	6	オニオンスープ																																				
ローゼル(※)	6	東郷町産ローゼルジャム																																				
なす	7	夏野菜カレー																																				
トマト(※)	7	東郷町産トマト																																				
かぼちゃ(※)	10	東郷町産かぼちゃコロッケ																																				
柿(※)	11	東郷町産柿																																				
米(※)	11	東郷町産お米のタルト																																				
大根	12~1	七草汁他																																				
ねぎ	1	豚汁他																																				
白菜	1	土佐あえ他																																				
※ 地産地消推進事業対象 (4) 残菜量 給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。 ア 合計 8,912kg (前年度分9,557kg) イ 内訳(カッコ内は前年度分)																																						

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成29年度〕

種 別	小学校			中学校		
	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)	食缶 (主に汁物)	バット (主に主菜)	バット (主に副菜)
総 量	5,725kg (5,870kg)			3,187kg (3,687kg)		
内 訳	2,986kg (3,121kg)	867kg (895kg)	1,872kg (1,854kg)	1,511kg (1,720kg)	429kg (513kg)	1,248kg (1,454kg)
一食当 たり	5.1g (5.4g)	1.5g (1.5g)	3.2g (3.2g)	5.7g (6.5g)	1.6g (2.0g)	4.8g (5.5g)
合 計	9.8g (10.1g)			12.1g (14.0g)		

※ ハートフル東郷、給食センター等は小学校分としております。

【総合評価】

- (1) 提供食数について
小学校、中学校ともに食数は行事等の関係により実施日数が増加したため微増しております。
- (2) 献立作成の重点について
給食センターの取り組みを理解してもらうよう、給食だよりなどの紙面だけでなく、校内放送を通じて伝えたり、給食指導の際に直接話を伝えたことは効果があったと思います。
- (3) 応募献立について
応募献立は毎年多くの応募があり、充実しています。児童生徒の給食への関心を深めるため行ったものですが、保護者の方の協力があって完成するものが多く、児童生徒が自分の家の味や料理について考える良い機会になっているようです。今後も継続していきたいと思います。
- (4) 地場産物の活用について
使用食材の価格や規格、約4,800食分を確保できるか、といった問題があります。また、農作物が主な対象となるため、天候等の自然的要因を受けやすく、安定した供給が見込めないこともあります。そんな中でも、児童生徒に少しでも自分の住んでいる町で育てた食材を食べることの意義を感じてほしいと考えているため、今後も継続し取り組んでいきたいと思います。
- (5) 残菜について
昨年度と比較して残菜が減っておりますが、栄養指導で食の大切さについて学んでもらう取り組みが徐々に表れているかと思えます。
また、献立作成時には毎月実施しております献立委員会での意見を反映させ、メニューに応じた味付けの工夫や改善を行ったことも残菜が減った要因の一つと考えられますので、今後も引き続き研究していきたいと考えております。
小学校、中学校と共に減らすことができた量はわずかではありますが、給食指導等で児童生徒と一緒に給食を食べることで残菜の総量だけでは見えない各学校の学年、クラス単位での様々な問題の本質が見えてきます。一つの学校単位では、学校単位では残菜量が少なくても、ある学年だけが大量に残していたり、クラス単位では、摂取不足の児童と、過剰摂取の児童が同じクラスに在ることで残菜量として見えてこない、という現状です。この問題については栄養指導の授業を通じて伝えていくだけでなく、担任の先生へ声をかけてもらう等の日常的なアプローチが必要不可欠であると思います。また、季節によっても食欲の増減があるため、各季節ごとに食べやすいメニューを取り入れていくことも必要だと考えております。